

2009年度

科目名	日本文学史Ⅱ		
担当教員	浅尾 広良		
配当	日文2	コード	33260
開期	前期	講時	水曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	前期物語文学史—異境を中心として—		
目的と概要	古典文学史のうち、神話から前期物語文学史を解説する。物語文学史を考えるにあたって重要なのは、「異境」の存在である。物語の祖と言われる『竹取物語』は異境の喪失をテーマとする。いわば物語文学は、異境を喪失するところから始まると言って良い。それ以降の物語は、喪失した異境をどのように物語の中に内在させるかがテーマとなる。神話世界の話から始まり、『竹取物語』を経て、『伊勢物語』『源氏物語』がどのように異境と向き合うのかを解説する。		
成績評価法	学期末試験(80%)、毎回授業の最後に行う確認小テストおよび授業への取り組み姿勢(20%)を総合して評価する。		
テキスト	授業時にプリントを配布する。		
参考書	授業時に適宜紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	時間的な制約があり、授業ではすべてを読むことはできない。興味をもったら是非自分で読んでみよう。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(オリエンテーション・授業の進め方ガイダンス) 2 異郷訪問譚の文学史…「異郷とは何か」「異郷訪問譚の基本形」 (『日本書紀』・『丹後国風土記』・『万葉集』) 3 異人來訪譚の文学史…「異人來訪譚の基本形」 (『万葉集』・『近江国風土記』・『丹後国風土記』) 4 異類婚姻譚としての異人來訪…(『古事記』三輪山神話 他) 5 『竹取物語』講読(1)…冒頭場面・異人來訪譚的側面 6 『竹取物語』講読(2)…昇天場面①・異郷訪問譚的側面 7 『竹取物語』講読(3)…昇天場面②・異郷とこの世の断絶 8 『伊勢物語』の特徴…歌語り・書名の由来・作者・主人公 9 『伊勢物語』講読(1)…初段 10 『伊勢物語』講読(2)…二条后譚 11 『伊勢物語』講読(3)…東下り譚・伊勢斎宮譚・現世における異郷訪問 12 『源氏物語』講読(1)…桐壺卷・光源氏と藤壺の異郷的資質 13 『源氏物語』講読(2)…若紫卷・「海龍王の娘」 14 『源氏物語』講読(3)…須磨流謫・六条院と「異郷」 15 全体のまとめ 			